



NPO 法人  
リタイアメント情報センター  
Retirement & Information Center



# Relive Journal



## “ிரைிபு” ஜர்னல் No.30

2019年 早春号 (2月20日発行)

### < “ிரைிபு” 憲章 >

- 組織、肩書き、経歴にとらわれない自由な生き方
- 知識、経験、技術を生かして社会に貢献する生き方
- 初心に帰って新しい自分を発見する生き方

私たちNPO法人リタイアメント情報センターはこのような生き方を“ிரைிபு”と呼び、その生き方をサポートします

### <目次>

1. ダイヤモンド プリンセス 北海道周遊とサハリンクルーズ乗船記  
(R&I 顧問・会員 渡嶋 八洲夫)
2. 南イタリア・シチリア島の散策  
(会員 山本 昌弘)
3. 台湾・台中のロングステイ地としての適地評価  
(会員 宮崎 哲郎)
4. 関西支部行事のお知らせ  
(関西支部長 阿賀 敏雄)
5. IN PURSUIT OF excellence - PART 2: TO NORTH AMERICA, AFTER 1972 (会員 赤神 潔)  
SEGMENT 7 : To the United States—Sea-Tac airport in Seattle  
To Kennedy International airport, New York  
SEGMENT 8 : I found Statler Hilton Hotel, Manhattan, New York  
SEGMENT 9 : Renting and driving a car in New York and Connecticut
6. 東京地区行事のお知らせ (事務局)
7. また、完走できません (会員 鳥居 雄司)
8. 中野寛成さんの誕生会に出席して (木津谷 文吾)
9. Viva !!! Chanson !!! (越智 克司)
10. 台湾／ステキ！素晴らしい！！ (会員 鈴木 信之)
11. 「年賀状としての版画」 (会員 伊丹 淳一)
12. 「男の友情から生まれた展示会」 (関西支部長 阿賀 敏雄)



## 1. ダイヤモンド プリンセス 北海道周遊とサハリンクルーズ乗船記

元キャメロン会 会長  
R&I 顧問・会員 渡嶋八洲夫

今回のクルーズは友人 10 名で参加した。海外の港からクルーズに参加する場合、乗船地までと下船地からは航空機を利用が一般的だ。加齢に伴い長時間のフライトは段々苦痛になってきた。横浜港発着クルーズだと航空機での移動がないので身体的に楽になり、またその分クルーズ料金も安くなる。

(期間) 2018 年 9 月 25 日～10 月 3 日  
(9 日間)

(航路) 横浜→釧路→コルサコフ→小樽→  
函館→横浜

### 1. シップデータ

- \*乗客2706 人
- \*就航：2004 年日本の造船所で建造  
(2014 年改装)
- \*全長：290m 全幅：37.5m
- \*総トン数：115,875 トン
- \*航海速度：22 ノット (41 km/h)
- \* (17F/18F：スカイデッキ)  
(16F：スポーツデッキ)(15F：サンデッキ)  
(8F～14F：居住区デッキ)
- \*ダイニング (5F：2 室) (6F：3 室)  
(7F：2 室) (14：5 室)
- \*バー、クラブ、ラウンジ  
(5F：1) (6F：2) (7F：4) (14F：3)  
(15F：1) (18F：1)



接岸中のダイヤモンド プリンセス号

### 2. 主要設備

- \*プール、ジャグジー、ミニゴルフ、  
フィットネス・センター
- \*野外映画、カジノ、ショッピング・コーナー、  
メインシアター
- \*日本風風呂「泉の湯」(外国船としては珍しい)  
15F 後方にあり、ゆったりとお湯につかり  
ながら窓から海を眺めることが出来る。湯槽  
も大きく常にお湯が溢れており衛生的だ。予  
約が必要、料金は90分、\$15(2,000 円)  
部屋にはシャワーのみでバスタブは無い



### 3. 船上でのエンターテインメント

午前・午後・夕と様々な催し物が企画され興味  
あるイベントに参加する。

- \*ビンゴ
- \*カクテル マティーニ調合実演
- \*\$100 クイズ、世界場所クイズ、スピード  
数独大会、yes/no ゲームショウ
- \*ダンス教室、70 年代の音楽でのダンス  
パーティー、社交ダンス、ラインダンス、  
50&60 年代ロックンロールダンスパーティー
- \*各種映画会 (日本語・英語)
- \*健康セミナー (鍼灸カウンセリング、しわ療法、  
姿勢の改善と快適な歩行、腰痛の軽減と快適  
な歩行、関節炎の痛み解決法、漢方療法)
- \*筋肉トレーニング、腹筋トレーニング、  
ストレッチ&リリース
- \*ビーチサンダル投げ大会、卵落とし大会
- \*夜のショータイム (毎晩メイン劇場で 2 回開催  
される)
- ①モニーク・デハイニー独唱会 (ジャマイカ  
生まれのポーカーリストがジャズを歌う)



## ②プロダクションショー

アイ・ガット・ザ・ミュージック。

## ③マジック&イリュージョンショー

(息をのむような観客参加型のマジックショウ)

## ④ボーン・トゥ・ビー・ワイルド プロダクションショー

(ラジオから流れるロックンロールを 聴きながら、4人の男女がピンクキャデラックに乗って旅にでかける。)

## ⑤北海道伝統芸能ショー (江差追分他)

## ⑥社交ダンスショー (社交ダンスチャンピオンアルテム&イリナの情熱的なラテンダンス)

## ⑦プロダクションショー (エレガントなセットを背景にポップ・オペラを楽しむ)

- \*日本再発見 (日本語教室、折り紙教室、盆踊り教室、風呂敷の包み方教室)
- \*教室 (カジノ、聖書を読む、太極拳、室内天体観測、初歩ロシア語、基礎英語、ウクレレ)
- \*演奏 (ギター、ジャズ、ハワイアン、カラオケ大会、ピアノ演奏、クラシック)
- \*有志の集まり (ポーカプレーヤー、バスケットボール、警察官、手芸・編み物)
- \*紙飛行機大会
- \*映画会 (英語版、日本語版)
- \*ゲーム会 (コントラクトブリッジ、ウノ (UNO)、誰が本当のこと言っているか)
- \*落語会 (ダイアン吉日による日本語/英語 落語)
- \*ピンポン大会
- \*野菜と果物彫刻ショー
- \*宝石鑑賞・販売会、展示会 (エメラルド、エフィタンサイト、ブルーダイヤモンド、エファアレキサンドライト)
- \*絵画展示会、絵画販売会、絵画鑑賞会
- \*最高級、中級、低級各種ワインの飲み比べ

## 4. レストラン

メイン・ダイニングは5ヶ所あり夕食は指定されたダイニングで共通メニューから好みのものを選ぶ。勿論ビュッフェスタイルのレストランで採るのは自由である。この他有料のイタリアン、ステーキハウス、海鮮レストラン、寿司レストランでは予約が必要。朝食はレストランで日本食の定食をとることが多かった。昼食はプールサイドでピザをつまみながらトランプゲームを楽しむこともあった。夕食は体重増加を心配しながらベジタリアンメニューを選択したり、前菜を2〜3

種類選びメインはパスすることもあった。

## 5. 船内新聞

午前・午後・夕に分けて当日のイベント (運動関連、健康セミナー、コンサート、ダンス等) の案内が掲載されている。

ディナーのドレスレコードも掲載しているが今回のクルージングでは2晩のみフォーマルでその他はスマートカジュアルであった。

## 6. クルージング旅程

### (9月25日) 乗船 (横浜港大桟橋 国際線ターミナル) →出港 17:00

みなとみらい線「日本大通り駅」下車徒歩10分で着く。チェックインカウンターで乗船手続きを終わる、パスポートを預け、いよいよ乗船、スーツケース等の大きい荷物は宅配便で送り、当日船室まで運ばれていた。

17時に出港、横浜ベイブリッジは海面から55mしかないので通過に興味を持ったが、すれすれで通過した。終日航海。非常訓練に参加、夜は軽く取る。

### (9月26日) 終日クルージング

### (9月27日) 釧路入港 7:00

船で企画の観光は高いのでタクシーを利用することにした。タクシーで釧路湿原展望台まで行き、広大な 28,000 ヘクタールの日本最大の湿原を鑑賞した。釧路川沿い時速 20kmのゆっくりと進むトロッコ列車も有名。昼は釧路和商市場で「勝手丼」を楽しんだ。あらかじめ酢飯の入ったどんぶりを買い、魚屋で鮮魚や魚卵を好みに応じて乗せてもらう、価格は思ったほど安くではなかった。



釧路湿原にて、一番右の方が渡嶋氏





(9月28日) 終日クルージング(釧路出港  
17:00→ロシア コルサコフ)

(9月29日) ロシア コルサコフ入港6:00  
→18:00出港

乗船してきたロシア担当官により入国審査を受けた。尚ビザの申請を受けてない我々は上陸するには、船側が企画した観光ツアーを利用する必要があった。

サハリン島最大の不凍港である。もともとアイヌが暮らす部落であったが、1679年松前藩の出先機関が置かれてからは日本人による漁場開拓が進んだ。18世紀になってロシア人が来るようになった。日露戦争後サハリン島南部は南樺太として日本領土となり、大泊と改称された。第二次大戦後は旧ソ連軍が占領、歯舞島、色丹島、国後、色丹の4島日本に返却されていない。

サハリン郷土史博物館(旧樺太博物館)郷土史や動植物に関するコレクションが展示されているが貧弱だ。聖ニコライ教会、栄光の広場には終戦記念碑以外はみるものはない。神社は参道が残っているだけで、鳥居、本殿はなく鳥居の写真を見せながらガイドしてくれた。



聖ニコライ教会



コルサコフ(大泊)の神社は参道しか残っていない

日ソ不可侵条約を破り戦線訃告もなく、一方的にロシアの占領下にある4島、複雑な気持ちをぬぐい切れぬままにコルサコフを離れた。

(9月30日) 小樽入港8:00→18:00出港

かつてニシン漁で栄えたこの街は北海道経済の中心として発達した。明治から昭和初期には大手都市銀行や商社の支店軒を連ね「北のウォール街」と呼ばれるほど栄華をきわめた。現在も石造りの洋館や古い日本建築等歴史的な建造物が多く残されており、資料館やレストランショップとして利用されている。

小樽運河一対象12年された港湾施設である散策路にはガス灯が設置され運河沿いの石造りの倉庫群は当時の姿のままのこされている。古き良き時代を小樽を思い浮かべながら散策をたのしめる。

祝津一かつてニシン漁で栄えた漁村で、現在も沿岸沿いには贅をつくしたニシン漁家の豪邸や番屋、石造りの倉庫等歴史的な建物が点在し、ニシン漁最盛期の繁栄を今に伝えている。

〔大型台風が北海道太平洋岸を直撃するとの情報があり船の揺れを心配したが上手くくぐり抜けたことは幸運であった〕

(10月1日) 函館入港8:00→出港23:00→

函館港は古くから天然の良港として知られ、江戸時代には北前船の寄港地として発展した。1859年横浜、長崎と共に国際貿易港として門戸を開いた。和と洋の交じりあう独特の文化と景観を形成してきた。又五稜郭は大きな星型の西洋スタイルの砦である。函館は東洋と西洋の文化が交じりあったとても魅力的な街である。

(10月2日) 終日航海

(10月3日) 午前横浜港入港→下船

## 7. 結び

- ①台風が接近していたが航海中揺れはなく快適な航海であった。
- ②長時間での飛行機の移動もなく、時差もなく快適だった。
- ③船上でのイベントはバラエティーに富んでいた。
- ④余暇時間にはみんなでのトランプゲームも楽しかった。
- ⑤サハリンでの観光は貧弱だった。
- ⑥2020年5月のクイーンエリザベスによる初夏の日本古都巡りは横浜発着なので楽しみだ。



## 2. 南イタリア・シチリア島の散策

会員 山本 昌弘

地中海の国々は地上、クルージングで何度か訪問し、イタリアも数回訪れている。今回は、行きたいところシリーズ旅行として南イタリア・シチリア島を散策した。



11月後半から12月初めの時期で日本は本格的な寒さシーズンを迎えているがこの地方は地中海性の気候で少し温かい天候で旅行しやすいシーズンである。日本からローマに入り、予定ではナポリからフェリーでシチリア島に渡り、州都パレルモ、タオルミーナを基地にしてシチリア島を旅する。帰りは、シチリア島の東端のメッシーナからフェリーでヴィラサンジョヴァンニへ半島に戻り、アルベロベッロ、ナポリへと移動して、ローマにもどる一周である。当初はナポリ港からフェリーでシチリア島へ渡る予定であったが天候が悪く欠航になり、急遽変更して列車で半島を南下する。そこからイタリアの長靴の先端に位置するヴィラサンジョヴァンニから列車を乗り込んで連絡船でメッシーナに渡り、当初予定のパレルモへ到着して、予定通りのコースに戻って旅行ができた。

ローマから約250Km南下したポンペイにある世界遺産ポンペイ遺跡を見物した。ポンペイ遺跡は約2000年前の古代ローマ時代に作られたもので、住宅街、商店街や劇場、公衆浴場、運動場、酒場、墓地等が作られ商業・港湾都市として繁栄した。広さは数Km四方にわたり広大で、全

て見て回るのは困難なくらいであり、発行されている地図を見ながら歩かねば迷子になるくらいである。一見に値するところである。



ポンペイ遺跡

ナポリからフェリーでシチリア島に渡る予定であったが欠航によって急遽コースを変更して帰りと同じコースで移動することになった。ローマから寝台夜行列車で地中海に沿って鉄道で南下し、長靴の先端のヴィラサンジョヴァンニまで行く。そこからフェリーに電車ごと乗り込みメッシーナに渡り、そのまま鉄道でパレルモまで移動した。ここは近距離でフェリーは欠航にならなかったのが幸いであった。

シチリア島はイタリアの特別自治州で、人口500万人の大都市で、パレルモはその州都である。パレルモは「良港」という意味をもち、紀元前8世紀ごろから栄えた街である。

パレルモにはノルマン王宮がある。この王宮は歴史が古く、紀元前8世紀にさかのぼり、アラブ様式の建物としては12世紀にノルマン人のシチリア王であったルッジェーロ2世が改築したものである。アラブ・ノルマン様式の代表的な建物である。



ノルマン王宮



カサーレの別荘



パレルモから南東に 15Km ほど行った所に位置するピッツァ・アルメリーナにはカサーレの古代ローマの巨大な別荘がある。ローマ帝政時代の 3~4 世紀に、大土地所有貴族が田園に建てた豪華な別荘跡である。大変贅を尽くした建物で、特にほぼ全室の床を埋め尽くすモザイク画の質の高さと規模は古代ローマ時代最大ともいわれています。モザイクにはアフリカの影響を受けた動物やピキニの女性など斬新な図像も描かれ芸術的価値も高く、当時この地まで経済力を及ぼした古代ローマ文明の跡をうかがうことができる。

ピッツァ・アルメリーナからさらに南東に行ったところにカルタジローネという街がある。この街は高台にある街で陶器の町として有名で、街全体が世界遺産に指定されている。カルタジローネでの陶器生産の歴史は、9~10 世紀の、イスラム教徒によるシチリア支配の時代に始まるようである。特にすごいのは陶器で装飾された大階段（スカーラ）で 250 段ぐらいの高さで、頂上に行くとカルタジローネの街を全貌できる。



カルタジローネのスカーラ

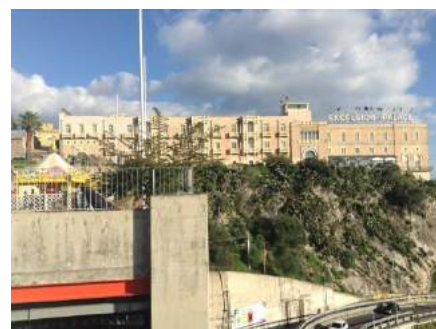
タオルミーナから南へ約 120Km ほどのところにシラクサという街がある。シラクサは紀元前 8 世紀ごろにギリシャの植民地として造られた古代都市でシチリア島で最大のギリシャ劇場や古代ローマの円形劇場など古代遺跡が街の至る所にある。特に紀元前 3 世紀頃に着工されたギリシャ劇場は 1 万 5000 人も収容できるもので圧巻である。

タオルミーナはシチリア島でパレルモに続く第二の街でイオニア海に面して、標高 400m の高台にある高級リゾート地である。紀元前 4 世紀に造られ美しい自然と歴史的な建物がすばらしい。ここにはギリシャ劇場など歴史的建造物が沢

山作られている。ギリシャ劇場は紀元前 3 世紀に建てられた円形劇場でローマ時代に改修され、当時の劇場として世界で 3 番目の規模を誇っていた。劇場客席から舞台中央を通しエトナ山を望めることができる。



シラクサのギリシャ劇場



タオルミーナの街並み

南イタリアのアルベロベッロにはとんがり屋根をしたトゥルッリという建物が町全体にのこっていることで有名である。この建物はモルタルを使わずにすぐ壊せるように石灰岩の切り石を積んで建てたようである。16 世紀から 17 世紀に開拓のために集められた農民によって建てられたものだが、徴税人が視察に来る時に税を逃れるようにすぐ上部を取り壊すことができようこのような建物を作ったといわれている。



アルベロベッロの夜景





今迄何度か来ており今回で3回目であるがいつも見ても異形を感じる街である。一見に値するが、見るごとに違った風景を感じる。今回初めて夜のアルベロベッロを見物したがこれまでと違った風景で趣がある。

アルベロベッロから北へ 30km 程行ったアドリア海に面したところにポリニャーノ・アマーレという港町があり、風光明媚である。特に海外沿いが素晴らしい景色である。

ポリニャーノ・アマーレからナポリへ向かう途中にマテーラという古い街がある。岩山をくり抜いた洞窟住宅群「サッシ」が残されているので有名である。8世紀から13世紀にかけて、東方からイスラム勢力を逃れた修道僧が住み着き、130以上の洞窟住居を構えていたといわれている。



マテーラの洞窟住宅

ナポリからポンペイを超えて南へ30Km程行くと小さい半島がありその南側に世界遺産に登録されているアマルフィ海岸がある。ソレントとサレルノを結ぶ全長約30Kmに及ぶ海岸線で切り立った崖沿いに民家や別荘が建てられている。



アマルフィ海岸

また、アマルフィ海岸にはこの地域に住む貴族たちの墓地として1200年代に建造された「天国の回廊」があり、それに付属して造られた大聖堂も大変立派である。



天下の回廊



大聖堂

シチリア島にはまだまだ沢山の世界遺産があり、4、5日では回り切れない。もう少しゆっくり見られるように、1週間ぐらいはかけて再度来てみたい所である。（記 2019.1）





### 3. 台湾・台中のロングステイ地としての 適地評価

会員 宮崎 哲郎

「りらいぶ ジャーナル」平成29年度初秋号にロングステイ関連記事として「台湾・台中での滞在」を投稿させて頂きました。以来同地に夫婦で年末年始この3年間、毎年ステイを楽しんで来ましたので、本稿では「台中」のロングステイとしての適地評価を試みたいと思います。



台中・三越デパート界隈の商業地区

ロングステイを目指す国及びステイに適する都市の条件としては

1. 親日的 2. 暖かく過ごし易い 3. 治安が良い 4. 時差が少ない 5. 年配者に優しい
6. 物価が安い 7. 現地の人と交流ができる 8. 医療が整っている 9. 自然が豊かな
10. 為替差額のメリットが望める等が評価の基準となります。

こうした条件を基に台中を評価してみました。

本論に入る前に台湾全体に関する簡単な基本的な情報は下記の通りです。

#### 1. 台湾全体の情報

##### 1-1 総人口：2357万人

(台中 280 万、台北 270 万、高雄 280 万、新北市 400 万人)

##### 1-2 台湾の状況と日本との関係

昨秋の地方選挙により与党・民進党が大敗し蔡英文総統が党首辞任をしましたが、外交・安全保障に関し歴代の政権は親日・親米が今の所基本路線の様です。しかし経済面では中国に多くの台湾企業が進出し中国との関係は深いものがあります。但し現在中国からの観光客は激減しており日本から近く台湾を好む、日本人観光客の増加は著しくなっている様です。

##### 1-3 台湾の国民性

その「ホスピタリティ」を先ず上げられます。この性格は特に外国人に対し発揮され、その最たるものは日本人＝日本に対する「親切さ」として異論はないでしょう。しかし政治に関する話題では非常に「熱くなる」様ですので、この話題は避けた方が良くと在住の日本人にアドバイスされました。又マンマンデー（あくせくしない）と言われるあまり気にしない前向きな楽観的な性格はマレー系東南アジア人に通じる感じがします。

#### 2. 次に本題の「台中ロングステイ」の総括・ 評価の為に情報を下記に纏めました。

##### 2-1 台中の位置

台中は台北～高雄との真ん中にあり台北より新幹線（高鉄）で 50 分、車で 2 時間の距離です、高雄までも同じく新幹線で 50 分の距離です。空港は台中国際空港があります。台鉄台北～台中自強号 2 時間 15 分、バス 2 時間 45 分（台北より）です。

##### 2-2 台中の気候

台湾中間に位置し海と山に接している為台湾の中では最も気候が温暖で住み易い都市として人気があります。台中市の西側には台湾海峡が接しており東側は台湾中央山脈に囲まれています。そのため夏は比較的涼しく、台風シーズンは比較的被害が少なく、冬も比較的温暖で過ごし易い気候です（因みに私共滞在中 12 月～1 月：24～25 度でした沖縄より暖かい様です）。台湾の人によると最も住みたい都市の NO.1 と言われております。この時期台北は寒く雨が多くの





過ごし難い気候です。但し、大気汚染は高雄程ではないが、悪く、火力発電が原因（石炭・バイク排ガス）の様です。

## 2-3 ロングステイヤーの市内移動手段

### (1) バス (2) タクシー

市内にバス優先ラインが出来たため交通の便が良くなり市バス網が発達しました。現在は 9 路線あり、バス代はほぼ無料（10 kmを超えると有料）バスは頻繁に運行されています。全てではありませんが急発進・急ブレーキと運転マナーは悪く、乗車したら何かに掴まらないと危険な状態の時があります。一部の運転者はスマホしながら運転する人もいます。但し乗客の若者が優先席を譲るマナーは日本より数段良く、救われる思いもしました。

タクシーは商店・スーパーでの買い物後受付に頼むと呼んでくれ6分後くらいに配車されるシステムが有り、日本より便利なサービスだと感じた。タクシー代は日本に比べ安いです。

なお市内高架軌道を使い全 18 駅間無人運転の新交通システムを建設中で 2020 年に開通予定とのこと、期待できそうです。この車両は日本の川崎重工製です。バイクの減少に役立つのは無理かもしれません。

## 2-4 日本統治時代の歴史的遺産

台中にも日本統治時代の歴史的建物が数多くあります。そしてそれらが台湾の方々によって受け継がれて良き遺産として保存活用されているのを知るのは日本人にとって感謝の気持ちすら感じます。

これらの中で特に取り上げたい遺産として「宝覺寺」という仏教寺院があります。境内にある高さ 30 メーターもある特大の黄金色の「弥勒大仏像」で有名ですが、それよりもこの境内には戦時中に台湾で戦死した日本人の遺骨（一万四千柱）を納めた日本人墓地が有り、その近くには台湾人元日本軍人、軍属を祀られた慰霊碑が有り毎年日台合同で慰霊祭が行われているお寺です。私共はこの3年間正月には必ず初詣を兼ねてお参りをしております。

## 2-5 台中の医療機関

日本語が通じ、宿泊先の振英会館が主にコンタクトしてくれる病院として「仁愛医療財団法人大里仁愛病院」があります。ここは「日本語医療サービス」がある総合病院です。緊急対応可能な 24 時間ホットラインがある。日本語による健康診断書報告を行っている。TEL 04-2481-9900、台中県大里市東栄路 483

その他内科医で日本語の通じるクリニック 3~4 か所あります。

医療技術は日本と大差ないと云われております。病院は平日、土日も夜 9 時まで治療しております。医療の安心感は充分と思われます。

## 2-6 台中の治安等

台湾全体に言えますがとても治安が良くスリ置き引きの犯罪は心配なく、気を付けることは交通マナーだけ。バイクがとても多く交通ルールを気にせず走る。青信号でも注意が必要。車も横断歩道に人が居ても安全運転はせず、車優先ですので注意が必要です。

## 2-7 最適な滞在用宿舎の確保

ロングステイの成功の鍵は滞在の宿がキーポイントですが、最適なコンドミニウム（振英会館）が台中にあり、このコンドの確保が重要でした。設備、サービス、家賃（約 11 万円/月）全て満足の行くものでした。広さ 20 坪、入居即生活可能な設備、備品が整っています。6人の女性スタッフが全て日本語堪能で誠実で親切なサービスを提供してくれます。

## 2-8 日本の食料品

三越デパートがあり日本食料品の調達が可能。また台湾現地資本「裕毛屋」という日本食料品の取り扱いがメインのスーパーが有り、魚、刺身から総菜、和牛肉類が調達可能です。日本米の新米までありびっくりしました。但し各商品の値段は 3.5 倍が日本円に相当すると配慮する必要があります。従って当然ですが現地製品の購入がベターです。



## 2-9 日本食レストラン

台湾人経営の日本レストランも多くあり、魅力的なメニューが店頭を飾っております。日本から進出したチェーン店が三越、そごうその他街中に溢れております。例えばくら寿司、餃子の王将、牛角、さぼてん、丸亀製麺、富士そば、吉野家、一風堂等です。

## 2-10 台中の日本人

約 1,000 人の邦人が住んでいると推定されています。台中日本人学校には約340人の生徒がいるそうです。

## 2-11 滞在中のアクティビティ(趣味活動)について

ゴルフ、テニス、卓球、ウォーキング等の運動、旅行、市内観光等が主としたアクティビティです。ゴルフ場は沢山あります。プレイ費はキャディ付き日本円で約1万円/人、4人単位が原則です、移動はタクシー利用です。卓球は宿の近くに卓球場があります。皆さんそこで楽しんでおります。

以上ロングステイを楽しむ為の適地の「条件10項目」に台中が充分当てはまり、良き滞在地として評価できると思いますので、「日本に近くて、気候が良くて、食べ物おいしい」この地にトライされることをお勧め申し上げます。

以上

## 4. 関西支部行事のお知らせ

(関西支部長 阿賀 敏雄)

関西支部では、以下の行事を予定しております。

### ◆ベルウッド歌声喫茶

2月21日(木)、5月16日(木)、  
8月15日(木)、11月21日(木)  
15:30~17:00 会場…ベルウッド  
司会：岸本隆司 演奏：ピアノ 荒木あゆみ、  
アコーディオン 比企野芳郎、ギター 植田元則、  
クラリネット 大澤泰 参加費：1000円

### ◆株式投資教室

講師：柏原 幾松 (新生投資クラブ代表)  
毎月第3土曜日 11:00~13:00  
会場：ホテル・アイボリー  
参加費：2700円 (ランチ付き)

### ◆ベルウッドCDの会

リーダー長岡壽男氏のご都合に合わせて開催  
会場…ベルウッド 参加費：1000円

### ◆MK 午餐会

講師の麻殖生健治氏のご都合に合わせて開催

### ◆第6回リタメンゴルフ会

5月14日(火) 池田カンツリー倶楽部  
キャディ付き 五月平 綾羽のコース  
幹事長 伊丹淳一

### ◆佐藤幸子 ドールハウス展 2019

5月15日(水)~19日(日)  
10:00~17:00 (最終日 16:00 まで)  
豊中市立文化芸術センター展示室 入場無料

### ◆第5回講演会 「胆斗の人 太田垣士郎」

講師：北康利氏 5月23日(木)  
豊中市立文化芸術センター小ホール  
参加費：1000円

<キョウヨウ・キョウイク・エイヨウ・  
ショウショウで健康ライフ>

関西支部長 阿賀 敏雄 090-1896-4575



## **5. IN PURSUIT OF excellence**

### **PART 2: TO NORTH AMERICA, AFTER 1972**

#### **SEGMENT 7 & SEGMENT 8 & SEGMENT 9**

**会員 赤神 潔**

### **SEGMENT 7 :**

#### **To the United States—Sea-Tac airport in Seattle**

I left the Nilsens' place, withholding my decision when to start working for them. They took me to the Airport Inn near the Vancouver Airport in their light brown New Yorker. The next day, I left Vancouver alone for Seattle, Washington, to go and see Mr. M. Ranch, whose name, phone number, and address I had on an old help-wanted ad from Japan.

At the Sea-Tac Airport, I felt easier and more confident than I had when I arrived in Vancouver, the first English-speaking foreign country I had ever been to. I called Mr. M right away. He said to me, "My wife is a schoolteacher. Right now, I'm alone at my mink ranch here and cannot leave for the Sea-Tac Airport. But if you are able to make your way to Everett, I could come and pick you up quickly."

I had already gotten the hotel information for the Holiday Inn in Seattle and Travelodge in Everett. So, I decided to go to the Travelodge in Everett that night.

I talked to two friendly guys at the airport and eventually got a ride to Everett with them. They were two white fishermen who had been on a crabbing boat in Alaska for a few months. I thought

the taxi driver was extremely cheerful with two returning crab fishermen.

#### **To Kennedy International airport, New York**

The next day, Mr. M took me to Sea-Tac Airport in his car. I flew to Kennedy International Airport in New York.

The purpose of my visit to New York was to visit the "furriers' town" and the famous fur auction, Hudson's Bay Co. on 30th Street in Manhattan, the centre of the world's fur trade. If I was about to jump into the mink business, I wanted to make sure I saw it with my own eyes.

I took a taxi directly to the Hudson's Bay Co. from Kennedy International. After coming down to street level from the elevated highway, I realized that my taxi was going around the busy street in a circle. I thought I saw the same crowded street twice, with steam shooting from manholes, many dollies, the same carts pushed by the same black people, and the same racks full of the same fur coats. When I began watching carefully, repositioning myself on the seat, the driver got noticeably nervous and started watching me through his rearview mirror. He said, "Yesterday was raining but today is better," and he waved his right hand vigorously, trying to draw away my attention. I found his name and started saying, "Is your name Bernardo?"

### **SEGMENT 8:**

**I found Stattler Hilton Hotel,  
Manhattan, New York**





Then I saw the Statler Hilton Hotel on 7th Avenue, which had drawn my interest, and I almost jumped out of the taxi.

When I tipped the boy, who came to my room with me, he asked me for more. My self-protective mechanism suddenly kicked in, as it had toward the nasty taxi driver, so I pretended not to be able to understand English. I shook his hand politely with both my hands and pushed him slowly and gently out of the room, smiling.

A Japanese fur and mink breeding-stock broker, named Mr. Suzuki, was working at Moe Lipson Co., a furrier near my hotel. He helped American and Canadian mink farmers for his customers and advertised their help-wanted ads in the Japanese fur trade journals. I was relying on one of those ads when I left Japan.

Mr. Suzuki seemed disappointed me, because I understood English well. He was busy entertaining a group of Japanese furriers and auctioneers who did not understand English, so I was left alone on the street of New York. A young single Japanese, Mr. Masuda, was working at the same furrier company. On a weekend a few days after my arrival in New York, we were to go and visit a mink rancher somewhere in Connecticut, whom Mr. Masuda knew quite well and had done business with in the past.

## SEGMENT 9:

### Renting and driving a car in New York and Connecticut

We rented a car in Manhattan on Saturday morning. I rented it and started driving it right away. I had driven all over Japan, in my own car and rental cars, so it was no problem for me to maneuver through New York's city traffic. However, out on the freeway, or turnpike or speedway, there were often more than ten lanes. If I didn't know which exit to take well in advance, I could not turn off where we wanted to go. I realized that the tollgate workers in New York worked at one slow speed, and with no affability toward their customers.

Navigating from Manhattan to Connecticut was naturally Mr. Masuda's responsibility. With our road map in his hands, he had to tell me where to turn off sufficiently ahead for me to change lanes. If he told me a little late, I had to use my special technique to manage the heavy New York traffic. Being a Japanese who had learned to drive through the narrow, crowded streets of Japan, without any accidents or violations, I had no problem with that. But it looked a little dangerous to ordinary, quiet American drivers, who would react by throwing their hands above their heads. I had never encountered these gestures in Japan and quickly learned not to do that. I could read the traffic signs more quickly than Mr. Masuda and react safely in the nasty traffic.

I understood right away why I, a complete stranger to New York, had rented the car and was driving it. Mr. Masuda seemed to be having trouble with directions. This was understandable, as he



had been commuting by subway train from Bronx to Manhattan every day. I thought I should buy my own car.

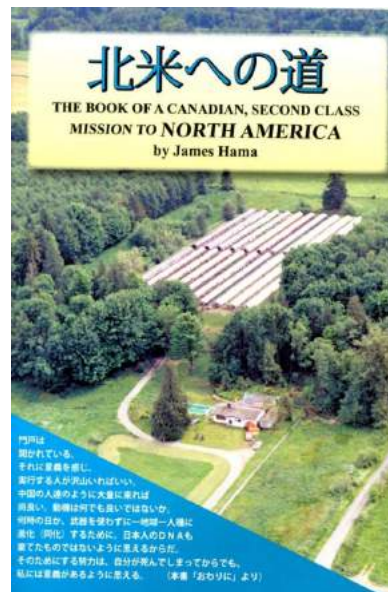
That evening when we came back from Connecticut, I decided to visit his apartment in Bronx and stayed there the night. Although it was almost May 1 and there were a few hot sunny days, I saw a lady on the street by his apartment building wearing a mink fur coat in the evening. I had learned that people here decided what to wear according to the ambient temperature they actually felt. This was peculiar to me because at home in Japan, people dressed according to the season shown on the calendar.

That night Mr. Masuda said to me, “Lots of Japanese girls are willing to offer anything to get an American visa to stay. They come and look for me, once they know I’m living here in the States with a green card. Women have the last resource to offer, which we men don’t have. You are a man, Mr. Akagami, so you will have to be prepared to make unbelievable extra effort to get your green card.”

He went on, “Just a few days ago, a Japanese traveller was surrounded, attacked, robbed, and hurt by a group of huge black Americans just outside the Hilton Hotel where you are staying.” He told me the Japanese traveller was a several Dan Judo-ka and well-built for a Japanese. He also said that I looked big and plenty strong. “But you’d better run away, throwing small change on the street without fighting, if you are attacked by a group of huge black Americans. So, you’d better carry some small change in your

pocket at all times, ready in case of an emergency like that.”

( To be continued )



日本語版著書の表紙・赤神 潔 著  
( by James Hama )

## 6. 東京地区行事のお知らせ (事務局)

### ◆カラダりらいぶセミナー第8回

4月10日(水) セミナー：14:00～15:40

会場：港区立商工会館・研修室

講師：斉藤 秀子 (チベット体操インスト

ラクター、メイク心理セラピスト、他)

### ◆東京地区 りらいぶゴルフ 2019春

日程：4月または5月予定

### ◆東京地区 第6回りらいぶ落語会

5月28日(火)

開場：12:30 開演：13:30～15:30

会場：お江戸日本橋亭

出演：桂 三若、他 チケット：2000円

お問い合わせ：事務局・島村

080-9982-6237

メール：haruo\_shimamura@hotmail.com

メール：menocasablanca@gmail.com



## 7. また、完走できません

会員 鳥居 雄司

### 獣医検査は雨でした

長距離耐久走といえるエンデュランス大会に出場する馬は事前の獣医検査を受けます。参加申請書類の記載馬の確認後に、大会に参加できる体調かどうかを獣医が確かめます。せっかく馬運車(馬を運搬する輸送車)で会場に連れてきてても獣医検査を通過できずに他の馬にかえたこともありましたが、大会前日の獣医検査は、あいにくの雨降りでした。5月27日とはいえ気温12度で濡れながら受けました。北海道の5月は東京の気候より、1ヶ月以上遅いような印象があり、雨具は用意してきましたが、雨の中の騎乗は楽しさ半減なので明日の雨あがりを期待しました。

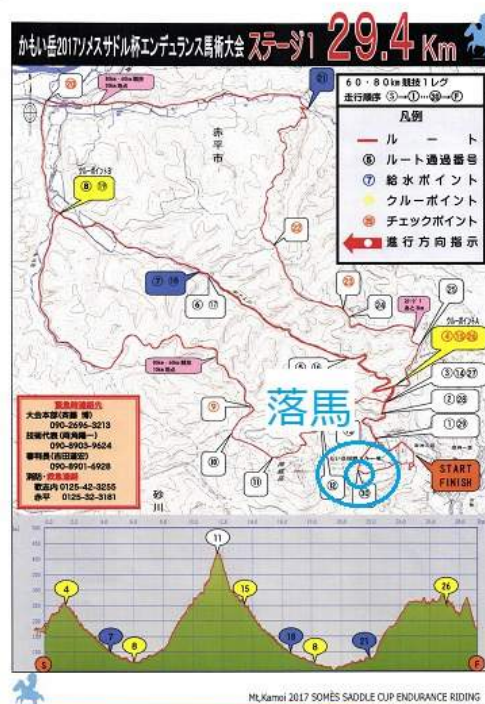
### 騎乗馬は11歳です

今回の騎乗馬は馬齢11歳のアイボリーという牝馬です。競馬のサラブレッドではなく日本馬です。日本馬は大柄では有りませんが、坂の昇り降りや耐久力にすぐれています。エンデュランスは馬にかかる負担が大きいので競馬と違って10歳くらいの馬齢の馬が多く参加します。今回のコースは平地に加えて、山の登り降り、林の中の曲がりくねり、水深30cmくらいの川越え、傾斜地の横断などがあります。馬と騎乗者にこれらを走る耐久力が求められます。この馬に慣れるために事前に練習騎乗をしました。長距離、長時間の競技なので事前に馬の日頃の様子を知っていると馬の変化を知りやすく、負担のかかりにくい騎乗を心がけやすくなります。アイボリーは前脚でつまずくことが何度かあったので、私の重心を多少後気味にしようと考えました。

今回の大会会場は北海道歌志内市のかもい岳スキー場と周辺でコース取りしています。最寄駅は函館本線の砂川駅です。スキー場のグレンデなどもコースに含まれています。平地で直進の走りやすいところは少ないので走行時間に注意しないと制限時間を超過して失権しそうです。さらに前日は随分雨が降っているので、ぬかるみに足を

取られそうで気になります。前脚をとられないように注意しようと考えました。

申し込んだ走行距離は80kmで、三区間で構成され、1区間30km、2区間30km、3区間20kmです。走行制限時間8時間、平均時速10km/h、出発は午前6時で、コース設定を考えると中々厳しいです。



### 1区間で落馬しました

前日の雨が残る中でスタートです。1区間の終盤に入り、かもい岳スキー場の大グレンデを横切り終わろうというあたりで、後方から追い抜きの声がかかりました。追い抜き馬は7頭位の集団でした。左が下がる傾斜で多くの馬に追い抜かれ、バランスを崩して落馬して左腰と尻を打ちました。放馬(手綱を放して馬を放す)した馬の行方をみるとコースの15mほど先にいるので追いかけて捕まえました。走って追うと馬は逃げるので、ゆっくりと歩いて近づき、手綱をとりました。落馬で90度ほどグルッと回った鞍を直すために手綱を近くの木の下に結ぼうとしましたが、短くてできません。そこで、引き綱(馬を引くときに使う綱)を持参していた選手に借りて、アイボリーを木の幹につなぐことができました。回った鞍を直し、引き綱を返し、手綱をつかんでやっとの思いで騎





乗することが出来ました。30 分ほどかかりました。そして、小ブレンデを下って 1 区間のゴールを通過しました。1 区間 30km を午前 6 時出発、8 時 42 分到着で 2 時間 42 分かかり、8 時 50 分に獣医検査を通過することができました。そこで馬を休める 40 分間の強制休止の後、9 時 30 分が 2 区間のスタート時間になりました。2 区間のカットオフタイム（ゴール制限時間）は 12 時 40 分なので 30km を 3 時間 10 分以内でゴールできれば 3 区間走行につながります。



## 2 区間で馬がツマズキました

2 区間を出発する頃から雨があがり、雲がとれ、陽射しがでて気温が上がってきました。2 区間は 1 区間に比べて高低の変化は若干穏やかです。注意しながら慎重にすすめれば時間内にゴールできそうです。出発して 1 時間ほど経ったときにアイボリーが前脚で大きくつまずきました。一瞬、私の視界から消えてしまうように頭を下げ、ひざを折りました。それで私も前にのめり落ちそうでしたが、アイボリーの体勢をたて直せたので、すぐそばのウォーターポイント（給水場）で止まり、確かめました。すると左右の膝を擦りむき、鼻の先を地面にぶつけたらしく、鼻腔の中から血を流

していました。馬主さんに連絡、相談して、アイボリーに騎乗しないで引き馬でゴールすることになりました。馬を引いて歩き出すと、私は登り道を歩く脚に力が入らずトボトボ動く状態になり、さらに視界全体が輝くような明るさになり、不安を感じて 10 分ほど横になって休みました。そして馬を動かすと、視界全体が輝くのは変わらないので更に 30 分ほど寝ましたが回復せず、コース途中のスタッフの軽トラックでゴール地点に運んでもらいました。このとき脈拍は 72 拍/分でした。私の脈拍は通常 60 拍/分です。

## 棄権を告げて

大会本部へ棄権の報告に行くと「ケガは大丈夫か？」と聞かれます。「ケガをしたのは私でなく、馬です」といったやりとりがありました。1 区間で落馬をし、2 区間で馬がつまずき、棄権をしたので私がケガをしたことになり、一時はヘリコプターを呼ぼうかという話もあったそうです。連絡が何人かを経るうちに伝言ゲームになったようです。今回ほどトラブルが連続したのは初めての経験です。馬がケガをしなければ騎乗に支障はないと感じていたので残念です。トラブルが起きたときの対処は重要ですが、回避して巻き込まれないようにするのが最善です。思い返すとあの時にこうすればと考えたり、異変の兆しを思い出そうとしたり、獣医検査の結果から知ることがあるのではと思ったりしました。検査結果を見ると、1 区間ゴール後は私が落馬しただけなので馬に全く負担がかかっていないことが分かりました。心拍数は 52 拍/分でウォーミングアップが終わってこれからしっかり運動できるという状態です。2 区間でもつまずいて擦り傷をしただけなので運動するのに差し支えることはありません。

残念な途中棄権でしたが、馬に深刻な後遺症はありません。朝から昼にかけて気温が上がり、私は急に視界が明るくなったり、脚に力が入らなくなったりしたので後日に病院へ行き、検査をしてもらいました。病名があてはまる検査結果はなく、治療は不要という診断でした。日常生活の注意をされただけで、薬をいただくことも無く、その後症状は起きていません。更に原因を尋ねると定番の「加齢です」と告げられるでしょう。体力が落ち、1 区間の落馬に加えて、昼に向けて天候の変化が重なったのが原因だろうと考えています。



## 8. 中野寛成さんの誕生会に出席して 2018・11

チャーチル京都 幹事長  
木津谷 文吾

中野寛成さんは、言わずと知れた民主党の元衆議院議員であり、国政の重要なポストを歴任された我が豊中高校の卒業生の中のエースの一人です。豊中高校卒業後間もなく、穏健なリベラル西尾末広の率いる民主社会党に入党されました。そして、若手の優秀な人材として囑望され、豊中市会議員から一機に衆議院議員に当選されて注目を浴びました。その後のご活躍を列記すれば、枚挙に暇がないので控えますが、昭和から平成時代にかけて活躍した政治家の一人として輝く存在感があります。今は引退され、趣味のカラオケを楽しむスナック「ベルウッド」の常連客です。歌を歌うことを趣味にしようと考えたのは、政治家を志そうと思った豊中高校の時で、政治家は声がおとることが大切だからと、まさに趣味と実益を兼ねて始めたとのこと。然り、まだカラオケなんかない高校時代から歌を始め、政治家としてのアイドリングを着々と進めておられたわけです。また現在は、当リタイアメント情報センターの顧問として、お世話になっております。

私が、そんな中野さんを知ったのは、実は、今回のこの中野さんの誕生会なのです。中野さんは有名ですから、私は中野さんを一方的に存知ておりますが言葉をかわしたこともなく、ひょっとして、私が電気事業連合会に出向していた時に仕事の上で一度ぐらいお会いしたかもしれないと思いますが、もし、そうだとしたとしても40年前のことです。私は、豊中高校で、中野さん（11期）の1年先輩（10期）ですが、豊中高校には、私の1歳下の双子の弟がいました。中野さんと同輩です。二人とも亡くなったので、語る由もないのですが、二人の弟は中野さんと交流があったかもしれませんが。

中野さんの誕生会を、「ベルウッド」で開催するから出席願えませんかという阿賀関西支部長からのお誘いがあって、少し迷いました。何とな

らば、誕生会は、中野さんの好きなカラオケ大会の形で行うというのです。私は、カラオケの趣味はないし、しかも、持病のパーキンソン病の症状の一つとして、声が出にくく、突然痰がからんで発声が止まったり、声色が変わり音程が狂うこともしばしばです。だからこそパーキンソン病のリハビリとして、発声訓練になるカラオケが良いと勧める医者もあります。そこで私は、こっそり点数のでるカラオケで試してみると、なんと、20点とか13点とかで、おまけに「ちゃんと歌を歌ってください」のコメントまで流れる始末です。自分自身、発声が悪いことを認識していますが、あまりにもひどい点数と、えげつないコメントまで出て、カラオケがすっかり苦痛になりました。そんな状態の私に、カラオケ大会付きの誕生会に行こうと誘うのです。ちょっと私の拒否反応を察知した阿賀さんは、「歌わなくていいんです」「私も歌いません」と、目を細めながら言うのです。あの目に私は弱いのです。「それなら、行くよ」と言っていました。

11月26日（月）、いよいよその日がやってきました。15時に阿賀さんが迎えに来ました。私はパーキンソン病で歩行が困難なので、阿賀さんが来るのは、私の車椅子を押すためなのです。ご厚情に甘えて車椅子で会場の「ベルウッド」に到着したら既に30人ほどの人で満席です。歌手の立つ場所を取り巻くように、壁に沿ってソファとテーブルが並べられた「ベルウッド」常態の配席に加えて、私と阿賀さんには、歌手の立つ場所の斜め後ろに臨時の席が設けられ、車椅子のまままで参加できるよう配慮されていました。その場所は丁度、壁沿いに座っている人たちと向かい合う形になります。

15時30分。誕生会の始まりです。司会進行は岸本さん。岸本さんは阿賀さんと豊中高校の同期（12期）です。11月生まれなので、この誕生会は、岸本さんの誕生会でもあります。岸本さんの格式張らない親し気な司会で場がなごんだところで、男5人女5人のカラオケ自慢衆がでてきました。どうやらこの人たちが、中野さんに歌を贈るらしいのです。歌う順番は名前のイロハ順というわかりにくい順で、司会者が順番を間違ってもわからないという趣向です。





私は、歌手の皆さん全員を存知あげないので、勝手ながら、文中に失礼な表現があっても海容い  
ただくとして記述を続けます。イロハ順で一番  
に登場した女性は声量あって、相当歌い慣れてお  
られるなあと感心して聞かせていただき、続いて  
男性がマイウエイを英語で熱唱されて、これに  
また感銘を受け、次々に登場する人たちの歌唱力  
に感動しました。私の存じている3人、栗原さん、  
山口さん、小池さん（10期）も勝るとも劣らな  
い美声を披露。おそらく、NHKの「のど自慢」  
にでたら鐘連打のツワモノばかりでしょう。歌は  
腹の底から発声するのだということがよくわか  
りました。圧巻は「ベルウッド」のママたちの重  
唱による”川の流れるように”でした。人生を歌  
った当に誕生会にふさわしい歌です。

歌手10人から、優秀賞3人が選ばれ中野さん  
から賞品が渡されました。最後に中野さんが” 昂  
（スバル）”を歌って誕生会は終わりました。な  
るほど、阿賀さんの言う「歌わなくていいんです」  
はこういうことだったのかと、やっと理解しまし  
た。そもそも、これを計画したのは、阿賀さんだ  
ったからです。楽しいことは、時間が短い。あっ  
という間に終了時間の17時30分になりました。

会場を去るとき、中野さんと握手しました。中  
野さんの手のひらは大福もちのように柔らかく、  
厚く、温かく、かつ、力強く頼もしい、いつま  
でも握っていたい不思議な気持ちにさせるので  
す。政治家は握手も発声とならんで大切です。し  
かし、歌のように、練習して手のひらは鍛えられ  
ません。その人の性格や人生観の凝縮が手のひら  
に出るのです。だから「手相学」が成り立つので  
す。中野さんは素晴らしい手をされています。政  
治家ということはもちろんですが、人間として敬  
愛される方です。人生100歳時代です。今後とも  
エースとして、余生を楽しく進んでください。

ここからは、余談を申します。私は、長い間  
「ベルウッド」に顔を出していないし、中野さん  
の誕生会ということもあって、久しぶりにジャ  
ケットを着用することにしました。黒が好きな  
私は、黒いベルベットのジャケットに黒いズボ  
ン、白黒の細かいチェック模様のシャツ、グレー  
のネックウォーマー、黒い皮のハンチングの姿で、誕

生会に臨みました。前述のとおり、私たちの臨  
時席は丁度、一般の座席と向かい合う形になっ  
て、歌手が替わろうか替わるまいが、いつも歌  
手の少し斜めうしろに私たちが居るという位置  
関係になり、いやが上にも私たちが目に入るの  
です。そんなわけで、誕生会が開きになって帰  
る時、わざわざ寄ってきて、「服装がキマッテ  
ますな」「オシャレですね」「主役より目立  
ってましたね」などとヒヤカシ言葉をかける  
人が数人おられ、当惑しました。「ベルウッ  
ド」の座席配置が、そうせしめたとは申せ、  
主役を凌ぐ服装は禁物です。しかし、私は決  
して豪華な服装をしていたわけではな  
いので、裏を返せば、平素、如何にみすぼ  
らしい服装をしているかということでもあり  
ます。



以上、中野寛成さんの楽しい誕生会でした。





## 9. Viva !!! Chanson !!!

越智 克司

R&I は 2018 年 6 月に ヤスコ Wild さん、中野寛成顧問、岸本隆司さんの当会三大歌手によるシャンソンパーティを開催致しました。

また 12 月 16 日 皆様の再演要請に応え、シャンソンとワインでの フランス風クリスマスパーティを企画、阿賀大僧正のもと、仏式生誕祭を厳かに営みました。

ゲストはいつもお元気な卒寿の藤上先生ご夫妻に加え、当会日中文化交流ツアーでお世話になった国立東北財経大学 張抗私教授にも出席頂きました。

当日 参加者の大半は戦力外通告を受けた 昭和年金青年団でしたが、御三方の素晴らしい歌唱力に我と年を忘れ、楽しく忘年会のひと時を過ごしました。

新しい年号の年にも 素敵な 豊中原人トリオのシャンソンを聴かせて頂きたいと願っています！



Viva !!! Chanson !!!





## 10. 台湾／ステキ！素晴らしい！！

会員 鈴木 信之

私たち夫婦にとって結婚満45周年記念旅行は久しぶりの海外旅行でした。

なんと、パスポートを使う旅は10数年ぶりです。更に、20歳代から出張や家族旅行、社員旅行などでさまざまな国を訪れていましたが、日本から最も近いと思われる韓国や台湾、フィリピンなどは今まで行ったことがありませんでした。

それが、私が某専門学校の留学生対象のビジネス日本語学科の講師をしていた時の教え子の台湾女性が、4年半近い日本生活に別れを告げて、昨年2018年の夏に帰国し「鈴木先生夫妻が台湾に来たら案内するので、それまで仕事に就かないで待っています」という強烈な誘惑がありました。台湾に行くなら台風の季節が終わり、天候の安定している11月が最適ではないか、という彼女のアドバイスもあり、その美しい台湾女性・張さんの通訳・ガイドのフルアテンドによる三人旅を、2018年11月20日から8泊9日の日程で出発しました。航空機の予約、ホテル、新幹線の予約などすべてインターネットで事前に予約しました。基本的にはとても簡単でした。

最初の**高雄国際空港**には、張さんが台北から新幹線に乗って迎えに来てくれました。高雄から台中、日月潭までは三人で仲良く一部屋に泊まります。台北は4泊しましたが、毎朝張さんがホテルに通ってくれました。

初めての台湾の印象を三つの言葉でまとめると「**きれい、美味しい、マナーが良い**」でした。この三点で、おそらくアジアで、いや世界で最も優れた国No. 1だと思いました。我が日本も、今や台湾に学ぶべき点が多くあると思います。

この三つのキーワードで「台湾／ステキ！素晴らしい！！」を語っていきます。

### その① 『きれい』

台湾の景色はどこも素晴らしかったです。高雄の「**高雄85大樓**」から見た高雄港方面を見下ろ

す夜景、「左營・慈濟宮竜虎の塔」から見た蓮池潭の風景、「芸術特区」の港湾倉庫街を彩るアートの数々、「愛河クルーズ」から見上げた高雄市内の夜景、「文武廟」から見た「日月潭」の広さとロープウェイから見る絶景、その日月潭のダイナミックな夕景と爽快な朝景色、台北「淡水」のたまぐれ、「九份」の有名な茶館の提灯に灯が入る頃。どれも忘れられないきれいな景色でした。そして、「故宮博物館」や「中正紀念堂」の壮大さ、「台北101ビル」から見渡す美しい台北市内の夜景。



芸術特区から見た  
高雄85大樓



高雄・竜虎の塔



文武廟から見た  
日月潭

淡水の夕景



九份茶館の夕刻





更に台中では、市内から1時間ほど離れたところで世界花博覧会が開催されており、ここで見た蘭の花の数々は、まさしく目を奪う美しさでした。



台中・  
世界花博  
の蘭

また、台湾の『きれい』は景色ばかりではなく、それぞれの観光ポイントは言うに及ばず、街なかや電車内や駅のホームなど、どこにもごみ一つ落ちていません。各都市名物の夜市でもごみはきちんとゴミ捨て場に捨てられ、道路などには落ちていません。酔っ払いがいないので、吐いた跡など日本で良く見られる光景も全く見当たりません。台湾人は自動車やバイク通勤の人が多く、外であまりお酒を飲まない習慣と聞きました。

## その② 『美味しい』

台湾を訪れる人が誰しも評価し、またリピーターが食を求めて台湾を彷徨う気持ちがよくわかる旅でした。中華料理の幅広さ、サンドイッチ類の美味しさ、コーヒー・紅茶の美味、何といてもフルーツの素晴らしさ。あげていけばキリがありません。

最初の夜、高雄の「六合観光夜市」では定番の焼きそば・汁そば・チャーハンの3点セットを頼み、台湾ビールとともに食した時の感動は、今も口に残ります。チャーハンは台湾米で作るからうまい、あの絶妙な弾力感のある歯ごたえが想い出されます。

そのほか夜市は、高雄の「旗津海産街」のシーフード、台中の若さ溢れる「逢甲夜市」、日月潭の地元民族料理、台北の「淡水夜市」「士林夜市」など各地で違った味を楽しみました。そうそう、士林では、台湾名物足つぼマッサージを夫婦で共に体験しました。それほど痛くなくて気持ちよかったです。そのあとの食事が美味しくなるので、食前のマッサージがお勧めです。



高雄・六合観光夜市  
での夕食



高雄・旗津海産街の  
シーフード



台中・逢甲夜市



台北・淡水夜市にて

更に、台北ではガイド役の張さんのご家族に、有名な「茂園」で本格的な台湾料理をご馳走になったり、飲茶で有名な「鼎泰豊」の小籠包までご馳走になり、台北をお腹いっぱい堪能することができました。「鼎泰豊」もやっぱり本店の味が世界一でした。



鼎泰豊の小籠包





台湾では朝食の豊富さも忘れてはいけません。張さんのアドバイスに従って、リゾート地の日月潭以外では、ホテル予約の際に朝食のつかないプランとしました。アドバイス通り、一步ホテルの外に出ると近隣の店から朝の爽やかな空気とともに美味しい匂いが漂ってきます。台湾風、洋風などいろいろ選び放題で安くて旨い朝食は、ついつい食べ過ぎてしまいます。従って昼は、それぞれの土地の名物を少しだけ頂きました。

このほかにも、マンゴー氷や、九份の茶館で食べたお菓子など、上品な甘さのデザートが多く、いくらでも食べられる感じでした。そうそう、やっぱり本場の台湾バナナは最高！市内のコンビニで買った台湾バナナは日本と変わりなくてびっくりでしたが。



マンゴー氷を仲良く食べる鈴木夫妻

### その③ 『マナーが良い』

実は今回の台湾旅行で感動したのは、このことでした。『きれい』のところで、酔っ払いがいないと書きましたが、このため深夜でも市内の幹線道路に近いところを歩けば、殆ど危険を感じません。東京に比べたら、ずっと安全です。

更に、この旅で最も感動したのは、普通電車や地下鉄に設けられた「博愛座」と呼ばれる優先席です。どんなに混んでいても、この座席に座っている若者は一人もいません。もしガラガラに空いていて若者が座っていても、私たちのような年齢のものが乗ってくると、瞬間的にサッと立ちます。しかもこの「博愛座」は電車のドアのすぐ近くに設けられているため、老人や身体障害者、妊婦などがすぐに乗降りできます。実に素晴らしい発想だと思いました。シルバーシートとか呼んで、車両の端にあり、時には若者が大股広げて身をかがいて寝ていたり、若い女性が化粧したりしながら

席を譲らない東京の光景を見慣れた私の眼には、すごく新鮮で素晴らしい光景でした。



最後にホテルについてですが、どこも素晴らしかったです。高雄と台中はビジネスホテルでしたが、フロントの対応、部屋の清潔さ、価格などどれをとっても素晴らしいと感じました。日月潭はリゾート民宿でしたが、日本の民宿のイメージではありませんでした。部屋の広さ、設備などどれをとっても、一流ホテル並みです。

台北では最高級とは言えないが、高級ホテルを予約しました。このホテルで驚いたのは、着いた早々にこちらの様子を見て、コンシェルジュの女性が、高雄から託送しておいたスーツケースをスッと持ってきたことでした。更に、彼女にランドリーの利用について質問すると、ホテルの公式のランドリーに頼むと高いばかりだ、コンシェルジュサービスに頼んで近くのクリーニングに出せば、重量単位で安く洗濯できる、とアドバイスされたことでした。言われた通りにやってみると、なるほど翌日にはきれいに仕上げり、しかも料金は格安でした。こんなサービスもあるんだなあ、と感心した次第です。

いずれにしても、過去の私の海外旅行の中でも、ほぼ最高の思い出を作ってくれた台湾、そしてそれを見事に演出してくれた張さんに感謝して、桃園国際空港をあとにしました。台湾は近いうちに再訪して、今回の感動を更に確かめたいと思いました。(了)



桃園国際空港にて張さんとお別れ



## 11. 「年賀状としての版画」

会員 伊丹 淳一

2019年の幕開けは平成最後の年となり、4月に決まる新しい元号と共に5月から新天皇のもとでスタートを切りますが、お正月の年賀状は年々減少し、前年度比7.2%減の24億枚でピークだった2004年の44億5千万枚から半減しています。



私は数十年、毎年約900枚の年賀状を出していますが、手作り版画をご笑覧頂いて新しい一年が始まります。頂戴する年賀状はプリントゴッコやパソコンで多種多様の賀状が増えてきましたが、それでも大半は紋切り型の印刷モノで、せめて一行でも添え書きをしてくれれば残念です。紋切り型の年賀状では気持ちが伝わってこないばかりか、年賀状を受け取ったので返事を出さない訳にはいかないから出した、と言わんばかりの印象が残り感心しません。

私は折角新年に受け取って貰うのであるから、印象に残るものにしようとの思いからスタートしたのですが、今では私の版画を期待される方が多く、喪中でも「自分は挨拶を控えるが版画の賀状は頂きたい」とコメント付きの喪中の挨拶状も珍しくなくなりました。更にはご本人が亡くなった後、奥様から賀状を頂いてその後も続いている方も10名余りいらっしゃいます。「貴兄の賀状の版画は正月の楽しみの一つになっています」などと、添え書きをしてあるものもあり苦勞の甲斐があります。

近年「今年を以って年始のご挨拶は控えさせていただきます」「来年から年始のご挨拶をご遠慮申し上げます」との挨拶状が多くなりました。これもいろいろ事情があつてのことだと思います

が、年末の何かと忙しい時に時間と費用をかけて、味気ない紋切り型の年賀状をやり取りすることの意味が薄れてきたこともその理由の一つになっているのではないかと想像しています。私にはその様な挨拶状が来ていたにも拘らず、翌年には頂戴することが多々あります。



版画は木版やゴム版が一般的で、私は朴木の木版を使っていますが、枚数が多いため細かい彫り物を必要とする箇所のみゴム版を使うことにしています。家内が絵を描けるものですから、私とその絵を彫るための絵に描き換えて彫り上げます。昭和45年の結婚以来、身内の不幸が無い限り毎年続けてきた作品ですが、当初は2~3色で仕上げていた版画は年々色数が増えて、近年では20色以上で仕上げるのが当たり前になりました。



画題は家内と旅行した先でのスケッチや写真をもとにしていますが、はがきの大きさにバランスよく収めるために、写真で撮ってきたそのままの風景は少なく、少し離れた場所にある建建物やアクセントをハガキの中に描いて仕上げます。

版画は彫版を上向きに置いて絵の具を塗り、ハガキのコーナーを合わせて乗せ、竹の皮で出来たバレンで摺りながらはがきに色を付けていくのが本来のやり方ですが、そのやり方で年賀状を制作しますと宛名書きの面が擦れて汚くなったり、絵の具がしっかりとらないで色がかすれるこ





とが多いため、私はコーナーのあるハガキ大のスポンジを貼った台の上にハガキを乗せ、そのコーナーに合わせて色を付けた版を上から押すやり方で制作しています。



色数は当然多くなればなるほど立体感が増すため、ついついもう1色とその数が増えて20色色になってしまいましたが、絵を描く家内が重視するのは「影」や「明暗」であり、それによる立体感も重要な要素になります。因みに今年の「錦帯橋」を画題にした版画は、手前の階段の手すりも現地の手すりは直線ですが、橋が眼鏡状に半円を描いたものであることから、敢えて手すりも丸みを付けたもので、石畳の手前の影も構図を整えるために付けた影であります。また、3人の人影を石畳に描いたのは橋の大きさが感じ取れるように付け加えました。



毎年年賀はがきが売り出されてから作業にかかりますが、大変なのは版を彫ることよりも摺るのに時間がかかることです。それでも摺ってみると描いたイメージと違う場合があって、平成22年の「金閣寺」もそうですが、池に映る映像が気に入らなくて彫り直すといったことがしばしば

あります。また、うっかり画像を裏返しに版に移して彫らなければならないものをトレースした絵をそのまま彫ってしまい、いざ摺る段になってから気が付いてやり直したことも幾度か。この様にして年末の多忙な時期に900枚も摺るのはとても苦勞する訳ですが、平成22年から24年まで身内の不幸が続きましたので、この3年間の年末はこれまでになく時間の余裕があり、ゴルフ、忘年会、クリスマスなどゆっくり楽しむことが出来たのを懐かしく思い出します。

年賀状と言えば、私も当初は「賀正」「新春」「迎春」「初春」などと共に「元旦」と朱色で入れていましたが、それは平成2年までで平成3年からは「元旦」のみとし、平成12年の京都の「渡月橋」からは「元旦」も入れないようにしています。それは、何人もの人から「文字は入れないようにしてほしい」との希望が参りまして、理由を聞くと「貰った版画を額に入れて玄関などに置き、翌年貰ったものに入れ替えて1年間飾りたいのに、正月文字が入ると精々1月しか飾れないから」というのが理由でした。少し嬉しくなって以降入れないようにしています。



また、画題がどこの風景かについても敢えて入れないことにしていますが、平成29年の「松島の朝日」を受け取った某氏から「淡路島の夕日でしょう？」と言われ、「新年から夕陽はないだろう！」と笑ってしまいました。

この様にして「たかが版画」、「されど版画」の年末年始はいつまで続けられるか、幸いよく見える目が見えにくくなるまで続けたいと思っている次第です。  
(完)





## 12. 「男の友情から生まれた展示会」

関西支部長 阿賀敏雄

ドールハウス展示会の開催は正に男の「やさしさ」の連鎖から生まれたとも言えます。事の起こりは、中野寛成顧問から「君と仲の良かった今は亡き佐藤宗熙君の奥様のドールハウス展示会を主催させて頂いたら、どうですか」との打診に始まります。

故佐藤宗熙君とは高校大学と一緒に学んだ仲。彼の葬儀には弔事を読み上げお別れをしたご縁もあります。

瞬間、当NPOの歌の会ではいつも大拍手を集める杉浦国裕君にも応援を頼もうと。二人は今から遡ること60年前の高校時代の大昔からオイ佐藤！オイ杉浦！と呼び合い、受験勉強も豪快な遊びも共に過ごした仲。共に小学校時代から勉強も出来るガケンカの強いガキ大将と聞く。杉浦国裕君は柔道で光り輝いていた。今ならオリンピック強化選手になり得た実力の持主の豪放磊落、且つ繊細な神経も持ち合わせるイケメン。高校時代から二人を中心に十数名の仲良しグループが今でも続いており、鬼籍に入った人も多いが、彼らの中に北海道で一番大きな病院の院長、上場企業の社長などなどで、私たちの社会を支えてきたプロも多い。

ところで展示会には準備費用が避けられないが、その殆どを「佐藤君の供養になるなら」と豪放磊落な男が提供してくれた。佐藤宗熙君も草葉の陰から「杉浦アリガトウ」と照れながら礼を言っているのが目に浮かぶ。

内容は伏しますが、栗本征彦先輩にも開催にあたり、やさしく背中を押して頂き衷心より御礼申し上げます。

以上、多くの男の友情連鎖から生まれた佐藤幸子ドールハウス展示会です。是非、足をお運び頂きますようお願い申し上げます。

Atelier Cozy  
佐藤幸子ドールハウス展 2019

2019年5月15日[水]～19日[日]  
10:00～17:00 (最終日16:00まで)

～心いやされるひとときを～

会場 豊中市立文化芸術センター  
大阪府豊中市曽根東町3-7-2  
TEL 06-6864-3901

主催 NPO 法人リタイアメント情報センター

佐藤 幸子  
豊中市在住  
ドールハウス教室  
Atelier Cozy 主宰  
数年前から中心に活動  
関西および関東で  
別荘や全館を開催

佐藤幸子「ドールハウスの世界」展  
夢のドールハウスが豊中に帰ってくる！

豊中市在住で、自宅・神戸・西宮で教室を開き、心斎橋・梅田・神戸・西宮・東京銀座・横浜で作品展・企画展を開催されてきたドールハウス作家 佐藤幸子さんの見事な作品たちが、20年ぶりに豊中に帰って勢ぞろいします。

1/2はまた1/2はスケールのドールハウスは精緻な手作り。家具や調度品、パッチワーク、絵画、壁のレンガに至るまで生活感に満ちた表現と心地よい色合いが欧米の古き良き時代とメルヘンの世界へいざなってくれます。

「心いやされるひととき」を楽しんでいただけますようお待ちしております。

NPO法人リタイアメント情報センター

— 代表作品 —

ダイニングルーム  
～パリのバルトマンの1室～

キューダーハウス

プライヴルサロン

ブリーチマリオン  
～大船の部屋～

ベッドルーム (1/2scale)  
～まらぬ日常の中～

ベッドルーム  
～ナイトキャップのひととき～

Atelier Cozy 佐藤 幸子ドールハウス展 2019

～心いやされるひとときを～

2019年5月15日[水]～19日[日]  
10:00～17:00 (最終日16:00まで) 入場無料

【会場】 豊中市立文化芸術センター 展示室  
大阪府豊中市曽根東町3-7-2 TEL 06-6864-3901

主催/NPO 法人リタイアメント情報センター 協力/杉浦国裕、竹川定徳、阿賀敏雄

発行：特定非営利活動法人 リタイアメント情報センター (R&I)

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル4F VIP システム内

●TEL 03-5733-2311 FAX 03-5733-3532

●e-Mail: [info@retire.org](mailto:info@retire.org) ホームページ: <http://retire-info.org/>

(発行責任者) 事務局 島村 晴雄